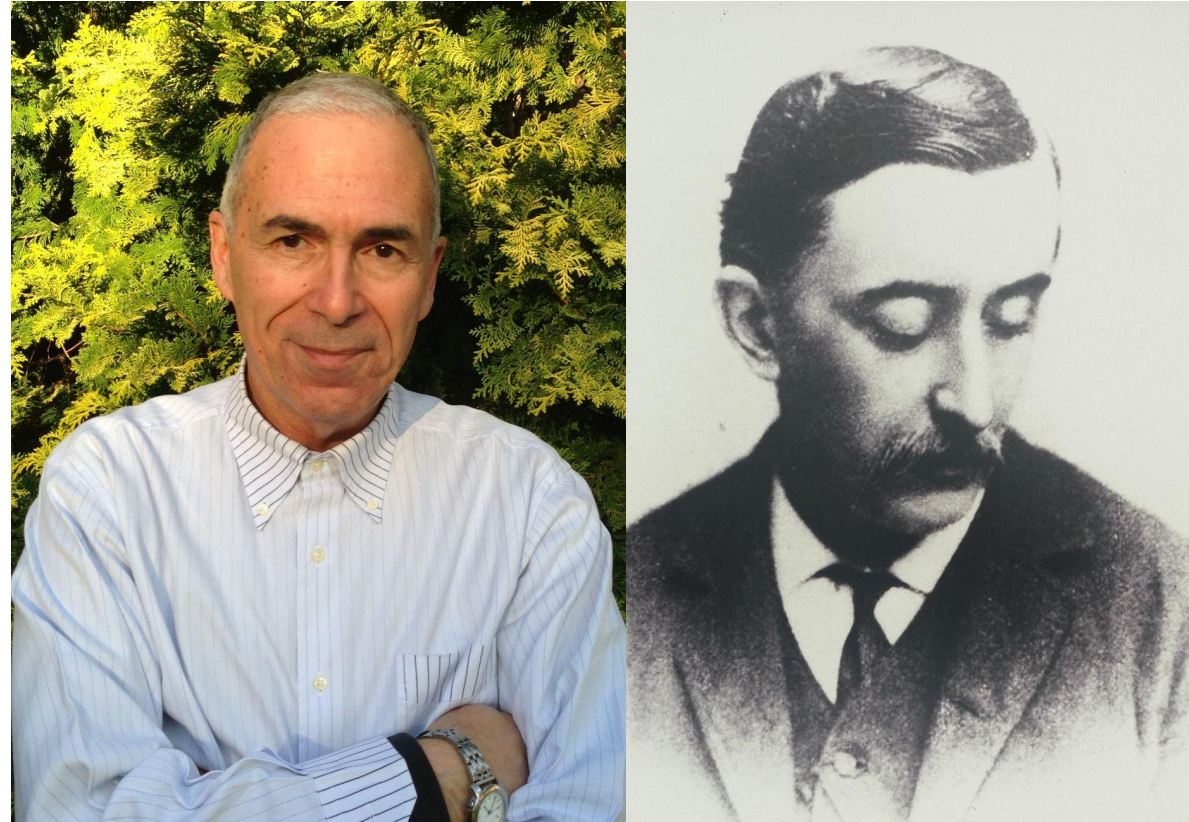


総合2025 気づきの先はいつも晴れ ～心にかかる霧を晴らそう～

第8回 6月5日(木)13:00～14:30

ラフカディオ・ハーン 生誕 175年を考える



ロジャー・パルバーズ 氏

作家/映画監督/翻訳家

会場:津田塾大学小平キャンパス特別教室

津田塾大学 125周年記念事業／国際化推進事業

<講師プロフィール>

1944年アメリカ生まれ。作家/劇作家/演出家。ハーバード大学大学院ロシア地域研究所で修士号を取得。精力的に日本各地を旅し、そこに住む人々や文化、風土、言語の特異性に触れながら、世界に稀な日本と日本人の特質と独自性に驚嘆。大島渚監督作品『戦場のメリークリスマス』の助監督などを経て、執筆活動を開始。著書に、『旅する帽子 小説ラフカディオ・ハーン』(講談社)、『英語で読み解く賢治の世界』(岩波書店)、など多数。深く敬愛してやまない宮沢賢治の作品の英語翻訳にも数多く携わり、その功績から第18回宮沢賢治賞(2008年)、第19回野間文芸翻訳賞(2013年)、第9回井上靖賞を受賞。2019年、オーストラリア勲章受章(MEMBER IN THE GENERAL DIVISION OF THE ORDER OF AUSTRALIA)。

<担当スタッフより>

この講演を通して、私たちは単に過去の偉人を学ぶだけでなく、自分自身のルーツや、今ここに
いる意味について自由に考える機会を持ってほしいと思っています。ラフカディオ・ハーンは、異
国の文化に強く魅了され、自らの人生をかけて日本という地を深く理解しようとしていました。パ
ルバーズさんもまた、複数の文化と言語を越えながら、日本を見つめ続けてこられた方です。だから
こそ伝えられる、外から日本を見たからこそわかるもの、そして内側からだけでは気づけないもの
が、きっとあるはずです。今、私たちは急速に変化する社会のなかで、「自分はどこに立っている
のか」「自分の文化とは何か」を問われる場面が増えています。そんな中で、過去を見つめ直すこ
と、異文化に出会うこと、そして新しい視点に心を開くことは、未来へ進むためにとっても大切な力に
なるはずです。講演を聴くなかで、ぜひ、異文化に出会ったときに感じる「ワクワク」や、まだ知らな
いものに心を動かされる体験をして、日常生活や他の講義の中で活用してみましよう。